ー 令和8年度 第17回「議会報告会」の開催状況の報告 ー

【 甘利 】地区

■報告会期日： 令和8年8月22日（土）

■開催場所： 竜岡公民館

■参加者：

旭	地区…	（男）	20	人	（女）		人	小計 20 人
大草	地区…	（男）	8	人	（女）		人	小計 8 人
龍岡	地区…	（男）	16	人	（女）	1	人	小計 17 人
	地区…	（男）		人	（女）		人	小計 人
その他	…	（男）	5	人	（女）	1	人	小計 6 人
	合計	（男）	49	人	（女）	2	人	51 人

令和8年度 「議会報告会」 地区テーマの概要　　【　甘利　】地区

(1) テーマ：　鳥獣害対策について

・市の甘利地区における鳥獣害対策の現状（防護柵・捕獲数）と各種補助金制度を説明した。
・「集落環境診断」を紹介し、集落的な鳥獣害被害の調査や分析から対策、対策検証を一貫しておこなう必要性について伝えた。
・クマ対策について痕跡履歴やクマを引き寄せないための対応策を紹介した。

(2) テーマ：　魅力あるまちづくりについて

・魅力あるまちの定義（心の価値・暮らしの魅力・まちの魅力）を説明した。
・甘利地区をどういうまちにしたいか、分野ごとに理想をあげた。
・1年間の出生数が約120人と示し、これからは「選ばれる努力が必要」という説明をした。
・理想を実現するために新しい魅力や価値について例をあげた。

１．鳥獣害対策について

(1) 電気柵関係

市の山沿いに電気柵を設置し、鳥獣の侵入を防いでいます。

① 山沿いの電気柵の設置　総延長 5,767m（甘利地区　令和８年現在）

② 電気柵管理用除草剤及びヤマビル対策用品※1 の配布（毎年）

③ 新規電気柵の設置（適宜）（県補助 50%　市補助 40%※2　地区 10%）

地区名	電柵延長（m）	除草剤配布量（ℓ）	備考
山口	1,520	14	
小曽根	545	6	
鍛冶屋	545	6	
山寺	677	6	
竹の内	554	6	R5 年度に一部改修
久保	525	6	
湯舟	1,401	12	

※1 ヤマビル対策用品については令和６年度より配布（各地区２本）

※2 令和６年度より市補助 30%→40%に改正

（参考:竹の内の電柵改修写真）

(2) 捕獲関係

甘利地区には峡北猟友会南分会があり、21 名の会員がいます。

鳥獣被害対策実施隊活動や、特定鳥獣管理捕獲（シカ・イノシシ・サル）を行っています。これ以外にも市内の農地を守るために、市内全域に対し、有害鳥獣駆除業務委託として、中型哺乳類（ハクビシン・タヌキ・アナグマ・アライグマ）を対象とした業務委託を行っています。

① 鳥獣被害対策実施隊活動として追い払いや有害捕獲を実施。

令和７年度実績 10 回　うち南分会２回

②特定鳥獣管理捕獲実績

令和７年度

市内全体

シカ 418 頭・イノシシ 70 頭・サル 87 頭　合計 575 頭

うち南分会

シカ 172 頭・イノシシ 10 頭・サル 65 頭　合計 247 頭

③有害鳥獣駆除業務委託実績

のべ合計件数　３８回

（内訳）

わな設置及び管理説明　　１３回

止めさし及び捕獲個体回収管理　２４回

錯誤捕獲対応及びわな再設置　　１回

(3) その他

①有害鳥獣被害防除柵等設置費補助金

本年度、新たな取り組みとして、市内で農地を耕作する方を対象に野生鳥獣による農作物への被害防除を目的とした防除柵等の設置に対する、補助金の交付を開始しました。

（補助内容）

・補助対象経費：電気柵、金属製柵、金網、トタン等の資材購入経費

・補助率：1/2 補助

・補助上限額：50,000 円

② 動物駆除用煙火の支給

令和７年度より、煙火消費保安手帳保持者を対象に動物駆除用煙火の支給を開始しました。今後も、支給者を対象にアンケート調査を行い、事業継続について検討していきます。

（支給内容）

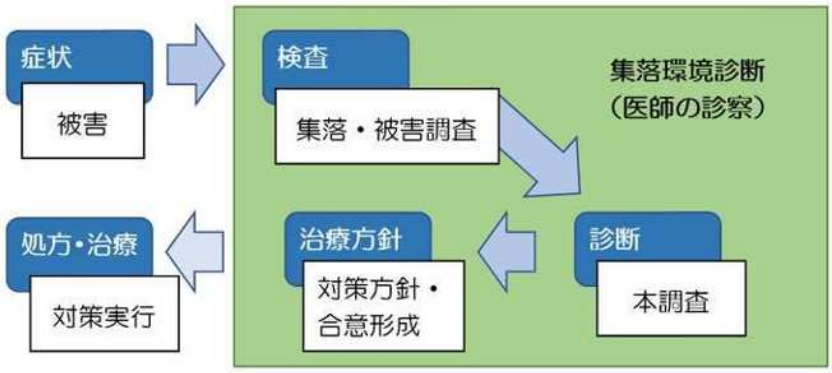
・動物駆除用煙火：1 人 20 本

・支給対象者数：全体 103 名（内、甘利地区 16 名）

③ 集落環境診断の実施

「集落環境診断」とは

今後の被害の発生・拡大防止に向けて、特に農作物被害の多い集落に、外部専門家による「集落環境診断」を導入し、集落単位での総合的な鳥獣被害対策について、現地の被害状況の把握や被害原因の分析から、対策の立案、対策の効果検証までの一連の取り組みです。



電気柵の設置や有害鳥獣捕獲だけでは、農作物被害の拡大を防げないことから、「集落環境診断」を実施し、地域ぐるみでの自発的な取り組みが展開され、地域における鳥獣対策の取り組みを支援するものです。

毎年１地区（集落）を目途に実施しており、令和７年度に旭町山寺集落で実施。

④クマ対応

若尾新田地区内でのクマの痕跡情報は、以下のとおりです。

日　付	内　容
6 月 16 日	甲斐警察署より痕跡情報の報告。
6 月 17 日	猟友会及び市で現地確認後、クマの痕跡と断定。 各関係機関へ連絡及び防災無線にて周知。
6 月 17 日 ～ 7 月 1 日	猟友会及び市で付近のパトロールを実施。
6 月 26 日	組回覧により注意喚起。

人家にクマを引き寄せないために、下記のとおり環境維持をお願いします。

・果物、野菜を野外に放置しない
・ぬか漬けなどの発酵食品、ペンキ、ガソリンなどの匂いの強いものを野外に置かない
・定期的な草刈りで見通しの良い環境を作る

⑤甘利山関係

2012 年よりシカによる高山植物の食害や希少植物の保護を目的として、NPO 法人甘利山倶楽部（以下甘利山倶楽部）と市商工観光課が連携し、甘利山に植生保護エリアとしてシカ柵を設置しているものです。

それ以降甘利山倶楽部を中心に、市と連携する中で柵の延長を実施しています。

植生保護エリア（令和 7 年 12 月時点）：20 カ所
総面積 10,745 ㎡：シカ柵の長さ 1,660m

今後について

集落環境診断を実施し、地域の実情に合わせた鳥獣害対策の対策を検討していくことが必要です。

また事業実施にあたっては、行政と住民の協力体制が必要不可欠であることから、一過性で終わることなく、継続的な連携等が重要です。

令和8年度有害鳥獣被害防除柵等設置費補助金

市では有害鳥獣からの農作物被害を防止するために対策を講じる方に対して、その対策に係る費用の一部を補助し、農業振興の推進を図ります。

1 対象となる方

本市に住所を有し、市内で農地を耕作する方

2 補助の内容

野生鳥獣による農作物への被害防除を目的とした防除柵等の設置

3 補助対象経費

電気柵、金属製柵、金網、トタン等の資材の購入に要した費用

※資材費の合計が 20,000円（税抜）以上のものに限ります。

※設置に係る工事費、委託費及び運搬費等は対象外となります。

4 補助金額

補助対象経費の2分の1の額（その額に100円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額）

※上限額は、50,000円となります。

【お問い合わせ・申請窓口】
韮崎市 農政課 農林振興担当
電話番号：0551-45-9104

市ホームページから申請書のダウンロードができます！

令和8年度 煙火消費保安手帳（動物駆逐用）取得費用等補助金

市では有害鳥獣からの農作物被害または生活被害を防止するために、動物駆逐用煙火の使用に必要な煙火消費保安手帳の取得または更新費用の一部を補助します。

1 対象となる方

本市に住所を有し、煙火消費保安手帳（動物駆逐用）（以下「保安手帳」という）を新規に取得するまたは更新する方

2 補助対象経費

保安手帳の取得または更新に要する費用

3 補助金額

①保安手帳を新規に取得する場合
取得費用の２分の１（上限１，５００円）

②保安手帳を更新する場合
更新費用の２分の１（上限５００円）

※保安手帳の所有者には、動物駆逐用煙火を２０本配布しています。

※市では、保安手帳の取得または更新のための講習会を開催しています。（年１回・令和９年３月予定）

【お問い合わせ・申請窓口】
韮崎市 農政課 農林振興担当
電話番号：0551-45-9104

地区テーマ２：**魅力ある まちづくり** について

「魅力ある」まちとは？　「ここにいたい」と思う理由を考えてみましょう

・誇り・愛着・安心感という心の価値
・住み続けたいと思う環境、暮らしの魅力
・つながり、歴史文化といった「まち・人の魅力」

○韮崎（甘利地区）をどういう“まち”にしたいか＝理想をあげた

【子ども・子育て】
・妊娠期から高校まで切れ目ない支援
・経済的支援、親子の居場所がある
・スクールバスの全地域導入

【住環境】
・住み続けたいまち
・買い物がしやすい環境

【高齢者】
・移動に困らない環境
・医療、福祉の充実
・人とのつながり

【住宅施策】
・働く人の定住を推進
・魅力ある宅地の整備

【地域コミュニティ】
・人のつながりがある
・地域の活気がある
・多世代交流がある

【若者・女性】
・若者・女性から選ばれるまちづくり
・ワクワク感、期待感があるまち

【農業】
・儲かる農業・ブランド化
・作業の軽減化

【交通・インフラ】
・快適な道路
・公共交通の充実

【歴史・文化】
・南宮神社・高森岡
・綾棒踊りの継承

【自然】
・甘利山、富士山
・ユネスコエコパーク

過去　現在　未来

未来は少子高齢化・人口減少が進む　「量から質へ！」価値の転換期

○ 韮崎市の 1 年間の出生数は約 120 人前後
つまり、「人口が増える前提の政策」はもう通用しない。

◆ これまでの自治体施策は
「発展（量）」を前提にしていた。
・住宅を増やす
・道路を広げる
・公共施設をつくる
・発展や子どもが増える前提

■ 人口減少社会では
・道路や施設の維持が重荷になる
・子どもは減り、高齢者は増える
・新築は減り、空き家は増える

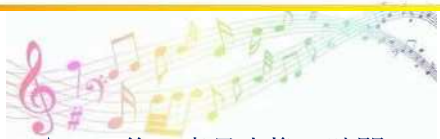
「選ばれる努力が必要な時代」へ

○理想を実現するために新しい魅力（価値）を創造しよう！　例えば

【交通・インフラ】×【子ども・子育て】×【高齢者】
○ 新しい移動プロジェクト　～スクールバスを全市民対応型へ～
・子ども→ 酷暑期も日没が早い冬季も安心
・高齢者などの交通弱者の移動が便利に ＋ 世代がつながる
・移動が楽しくなり、まちの魅力が広がる

【地域コミュニティ】×【政策】
○ 公民館をまちの拠点に　～暮らしと人をつなぐ～
・いつでも誰でも入れる（多世代交流・まちのリビング）
・職員がいて相談や簡単な手続きができる
・世代を超えて地域づくりの仲間が増える場所

【子ども・子育て】×【高齢者】×【地域】×【政策】
○ 子ども地域貢献積立制度　～世代循環サポート～
・高齢者・地域→ 市に作業を依頼　料金の発生
・子ども→ 作業内容、回数に応じて市が積立を代行
・学用品と交換・高校卒業時に奨学金として受け取れる

【歴史・文化】×【自然】
○ 中高生吹奏楽と綾棒踊りの調べ　♩ ♬ ♪
・舞台：甘利山、南宮神社、高森岡など
※綾棒踊り→甘利地区の無形民俗文化財

☆この後の意見交換の時間で
「魅力ある」まちづくりについて
皆で考えてみましょう♪

No.	地区	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
1	旭	旧水神住宅の今後についてお聞きします。	令和6年度に廃止しましたが、移住定住策やその他の活用策を調査したところです。今後は、調査結果を公表し、公募型プロポーザルを実施し、民間活力の導入による効果的な利活用を進める予定です。
2	龍岡	訪問介護サービス基本報酬の引き下げ率について、％で示してください。	「％」の提示は、後日改めてさせていただきます。いずれにしても、基本報酬の引き下げにより、様々なオプション（加算）も下がることになります。 ※基本報酬引き下げについては、別紙の表をご覧になってください。
3	旭	鳥獣害対策について、木の実がなる木を植えるなど緩衝帯を設ける必要があるのではないか。	緩衝帯を設けることは理想でありますが、煙火による追い払いも始まりましたのでこちらの効果を検証するところから進めたいと思います。
4	旭	魅力あるまちづくりについて、もっと大きなテーマを取り上げるべき。甘利地区だけのことを考えていてもよくはならない。議会報告会のあり方も検討すべきです。	市全体では、リノベタウン構想、オープンファクトリーなど、新しい芽が育っていることは承知しています。しかし、今回は身近な魅力について例をあげたほうが、この後に意見を出しやすいのではないかと考えました。また、議会報告会のあり方については持ち帰り、議会で共有したいと思います。
5	龍岡	魅力あるまちづくりについて、人口はこれから増えていきます。なぜなら女性が住みやすいまちになるからです。「これから人口が減る」という発言を撤回してほしい。	心強い発言をありがとうございます。今回は現状としてあげていますが、我々も人口減少をあきらめたわけではありません。女性や若者に選ばれるまちづくりについて引き続き取り組んでいきたいと思います。
6	旭	高齢者対策として公共交通機関も数が少なく利用しにくい。市民バスは無料を提案する。 また、市民バスのルート拡大（地区内の細部への移動を可能に）	市民バスの増便と無料化は、高齢者の移動や生活の質の維持に寄与するものと考えられますが、外出頻度・経済効果・医療費・介護予防への影響など、先ずは投資効果を研究・試算することから進めさせていただきます。

＜別紙＞　　訪問介護サービス基本報酬の引き下げ単位数と割合％

サービス種類	時　　間	改定前の単位数	改定後の単位数	減割合
訪問介護	20 分未満	167 単位	163 単位	2.39％
	20 分以上 30 分未満	250 単位	244 単位	2.40％
	30 分以上 1 時間未満	396 単位	387 単位	2.27％
	1 時間以上 1 時間 30 分未満	579 単位	567 単位	2.07％
	以降 30 分増すごとに	84 単位	82 単位	2.38％
生活援助	20 分以上 45 分未満	183 単位	179 単位	2.19％
	45 分以上	225 単位	220 単位	2.22％
身体介護に引き続き生活援助を行った場合		67 単位	65 単位	2.98％
通院等乗降介助		99 単位	93 単位	6.06％

No.	地区	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
7	旭	市民の交流の場所の充実として老若男女参加の盆踊りの実施。 体育行事の復活。旭バイパス沿いに町と農協と連携した「道の駅」の誘致。	盆踊りと体育行事は、世代を超えた交流と健康づくりを促し、道の駅は農産物の販路拡大と観光拠点として機能し、交流人口の増加と地域経済の活性化に直結すると考えます。 交流事業は、地域住民で出来る範囲から取り組んでいただけたら幸いです。
8	旭	子育て支援として未就学児等が活動出来る屋内型施設の設置。通学路に歩道の設置（旭76号割羽沢橋からすずらん団地まで）。	猛暑・豪雨が増える中、屋内で安全に遊べる環境は子育て世帯の強いニーズです。韮崎アリーナ（新体育館）の未就学児の利用料の無料化を求めた議員もいますが、さらに子育て支援策の一環として強化策を提案していきます。 歩道の延伸については、道幅の確保が難しいため、議員提案のグリーンベルトにて安全対策を図ったところです。引き続き地域による見守りもお願いします。
9	旭	まちづくりとして体協活動が盛んの時期は交流も多く町への愛着があったと思われる復活を希望。	現在のコミュニティの希薄化を踏まえると、体協活動の復活は交流の再生と町への愛着に直結する重要な取り組みです。市には、体協（現スポーツ協会）活動を再び推進していくことを求めてまいります。
10	旭	まちを良くする取り組みとして、地域行事への女性の積極的参加、（声掛け等）	地域行事への女性の積極的参加は、多様な視点の反映と担い手の拡大につながり、地域活性化に直結する重要な取り組みです。 市には、参加しやすい環境づくりや声掛けの仕組みを整え、女性が自然に関われる地域運営を進めるよう求めます。
11	大草	情報発信の強化を図ってほしい。	市のHPをリニューアルしたところではありますが、議員からも指摘されたとおり、分かりやすく改善してまいります。また、SNSやSNS人材を活用した情報発信を導入しておりますが、さらなる強化に努めてまいります。
12	大草	公共交通の充実を図ってほしい。	市民バスの増便等は、市民の移動や生活の質の維持に寄与するものと考えられますが、外出頻度・経済効果などの調査・試算を行う必要があります。そこで先ずはAIオンデマンドバスの投資効果の検証から進めさせていただきます。

No.	地区	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
13	大草	若者を呼び込む策をお願いします。	市長の公約にもある、チャレンジする若者を応援しております。地域に偏りがあるため市内全域へと波及するような政策を調査研究してまいります。
14	龍岡	公共交通機関も数が少なく利用しにくい。	市民バスの増便は、市民の移動や生活の質の維持に寄与するものと考えられますが、外出頻度・経済効果など、先ずは投資効果を研究・試算することから進めさせていただきます。
15	龍岡	買い物施設の充実(医者・リハビリ施設などと一緒の場所) 高齢者は、交通、通院、買い物が便利なのが一番良い。	医療・リハビリ・買い物施設を同じ場所に集約する取り組みは、移動負担を減らし、便利で暮らしやすいまちづくりに直結しますが、現状を大幅に変えることになり難しい点です。先ずは、交通アクセスの改善を進め、高齢者が安心して生活できる環境づくりを求めていきます。また、移動の少ない住居に移り住める政策を提案した議員もおり、こちらの検討も求めていきます。
16	龍岡	地域の神社を尊びそこのお祭りを大切にし、盛り上げる。老若男女参加の盆踊りの実施。 体育行事の復活。	地域の神社を尊び、そこで行われる祭りを大切にし盛り上げていくことは、地域の誇りや一体感を育てる基盤です。あわせて、老若男女が参加できる盆踊りの復活や、かつて地域の交流の中心だった体育行事の再開は、コミュニティの再生に直結する重要な取り組みです。交流事業は、地域住民で出来る範囲から取り組んでいただき、市には再構築の支援について求めていきます。
17	龍岡	子育てする同世代の親同士の交流の場がない。子供や孫たちが楽しめるような催しが少なくなった。家族の意識改革(妻が我慢しすぎる、娘や孫が将来この町で過ごしたいと思える家族づくり)	①親同士が自然に集まれる交流拠点の整備 ②子ども・孫世代が楽しめる地域イベントの再生 ③家族の負担を軽減する支援策の拡充 を進め、世代を超えて「この町で暮らしたい」と思える環境づくりを市に求めていきます。
18	龍岡	人間関係が希薄の中で困難な問題や方向性を明確にする。 体協活動が盛んの時期は交流も多く町への愛着があったと思われる復活を希望。	現在のコミュニティの希薄化を踏まえると、体協活動の復活は交流の再生と町への愛着に直結する重要な取り組みです。市には、体協(現スポーツ協会)活動を再び推進していくことを求めてまいります。

No.	地区	① 意見・要望・質問の発言要旨	② 回答、対応
19	龍岡	地域行事への女性の積極的参加、(声掛け等)	地域行事への女性の積極的参加は、多様な視点の反映と担い手の拡大につながり、地域活性化に直結する重要な取り組みです。 市には、参加しやすい環境づくりや声掛けの仕組みを整え、女性が自然に関われる地域運営を進めるよう求めます。
20	大龍 旭草岡	スクールバスを導入してほしい。	現在のところ導入の予定はありません。しかし、近年の気温上昇による登下校時の熱中症への懸念をはじめ、交通安全や防犯、クマの目撃情報、保護者による送迎の負担等、子どもたちを取り巻く通学環境が変化していることも認識しております。このような中、本年度の「韮崎市立小、中学校適正規模・適正配置検討委員会」におきましては、市内全体の通学方法についても、ご審議いただくこととしておりますので、その検討結果も踏まえ、子どもたちの安全・安心な通学環境の確保に努めてまいります。